

事業計画書

事業名	にぎわい創出に貢献するイソギク植栽の試験的事業
実施場所	門池公園およびその他の公園
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年4月1日～2021年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

地域住民・団体と連携しながら、自生するイソギクの植栽を通して11～12月の開花期に見物客を呼びこむため、イソギクのもつ雑草抑制効果により、雑草対策にかかる人・予算を軽減し、見物客増加への取り組みに振り向けるため、試験的に小面積でイソギクを植栽し、イソギクを知ってもらいイベントを開催しながら、植栽についての実験・検証を行う。

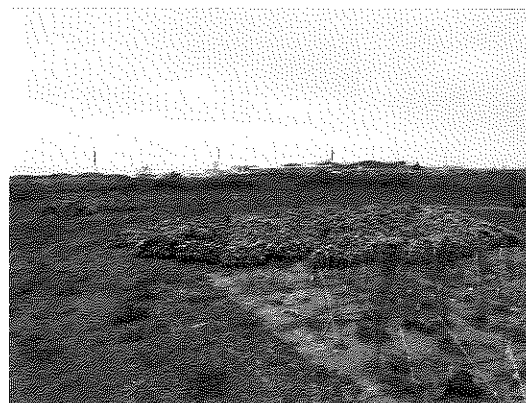
◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

イソギクとは茨城～静岡の海岸線に自生する海浜植物で、日本在来の固有種です。また草丈が30～40cmほどの常緑性多年草であり、一度植栽すると永年的に生育します。またイソギクは密生し、11月～12月にかけて黄色い花を一面に咲かせます。



（葉が密生している状況。植栽升内の雑草を抑制している）



（イソギク開花期 遠景）



（開花期アップ 宮城県にて取材を受けた植樹した木を雑草から守っているイソギク。竹は植樹した木の支柱）

アンケートなどをさせてもらい、イソギクを今後どのように活用していくかのデータを集めることが主となります。

沼津市パークマネジメントプラン、それに基づいた門池公園やその他の公園でのイベント等のコミュニティビジネス化を考慮し、イソギクが本来持つ特性である雑草抑制効果による雑草対策の軽減に加えて、地域住民・コミュニティと連携しながら、公園に花が少なくなる11月～12月の期間に、イベント・コミュニティビジネスの1つとして“イソギクまつり”開催を視野に入れています。これによりパークマネジメントプランに沿った形で、地域振興、公園のにぎわい創出に貢献することを目的とします。初年度に引き続き、2020年度も公園利用者へのイソギクに対する意見を聞き、今後の展開方法の参考としたいと考えます。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2019年4～5月 以後、～10月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 イソギクの植栽イベント(身近なマジカル植物“イソギク”を知ろう! & 植栽イベント)開催 定期的なイソギクの経過観察を実施(月1回程度) 必要があれば手抜除草作業を実施
11～12月	開花状況の確認を実施 花に足を止め、写真等を撮る人の数等の調査を実施する
2020年1月	開花後の花柄状況の確認を実施 また、イソギクの被覆率70～80%に達した段階から、イソギクについてのアンケート調査等を実施する。(予定として80%被覆時、全面被覆時、開花時)

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。
初年度に引き続き、イソギクについて知ってもらうことを第1とし、植栽イベントを開催し、植栽後は試験的に植栽したイソギクに対し、アンケート調査を実施し、イソギクについての公園利用者の意見を統計解析し数値化する。それを踏まえ、イソギク植栽エリアの拡大、にぎわいの創出へと繋げる判断材料とする。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 アンケート調査より、イソギクへの期待度が50%以上	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 アンケート調査等による結果にてイソギクへの期待度、開花時にイソギクを見学した人数により総合的
------	---	---------	---

		に評価する
--	--	-------

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>イソギクによる景観向上、開花期の彩りによる公園利用者への良い景観空間の提供に加え、イソギクのもつ雑草抑制効果について認知してもらい、公園に対して草刈り等の雑草対策についても公園愛護会の作業軽減、草刈りに充てられてきた予算の削減に貢献し。別の用途へと振り向けることが可能とし、沼津市パークマネジメントプランの方向性とも合致します。さらに現在イソギクの苗木生産を行っているのは富士市にある福祉就労支援施設になるため、苗木の購入は施設利用者の工賃アップにも貢献できます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによつてどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>イソギクの自生地である沼津市にあって、地域住民の憩いの場となっている門池公園であるが、一部エリアでは雑草等を放置している結果、景観を損ないつつあります。これは他の公園等でも同様です。イソギクを活用することにより、これまで雑草によりマイナスだったものが雑草をなくすことにより0に戻すだけでなく、積極的に人の目に留まるように景観を向上させることが可能です。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>地域に根ざす在来植物であるイソギクを活用し、イソギクの特性を活かした雑草に対するメンテナンスを軽減させることに加え、イソギクの開花期の11月～12月にイベントを想定している点。近年、河津の河津桜まつり、本栖湖の芝桜まつり、ひたち海浜公園のコキアの紅葉祭り、あしかがフラワーパークの藤まつりなど植物をメインにした祭りイベントが盛んに行われるが、イソギクをテーマにした大規模な祭りイベントはない。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>当法人は環境や緑化を専門とする団体であり、地域との連携は不可欠であり、地域振興やにぎわい創出については地域住民・コミュニティが主体となることが重要です。当初は当法人が主体でイソギクに対応するが、将来的に徐々に主体を地域に移行し、当法人はイソギクへの技術的なサポートを行いつつ、地域コミュニティが行うパークマネジメントに参画していく。</p> <p>また今後、イソギク活用のスキームは、他の公園、耕作放棄地、遊休地等でも利用が可能で、他の地域へと活動を広げることにより、活動資金を確保しつつ、自立的な活動とすることが可能と考えます。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>今年度は予算を考慮し、イソギクの植栽面積を決定しました。スケジュールは季節等の自然条件を考慮して計画をしました。また公園管理上の各種法令を遵守しながら、イソギクの植栽を実施していく予定です。調査については、これから実施者を決定する予定。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>樹木医として仕事柄、緑に囲まれた街並みを目指しており、イソギクのようなグランドカバーを含めた全体的な緑化にたいへん関心・興味を持っています。これまで想定していなかった緑により街の景観をがらりと変えるような都市計画の一部を担ってみたいと考えている。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

2019年度に引き続き、2020年度も試験的な活動の中で、イソギクという植物を地域住民、公園利用者に知ってもらうとともに、アンケート調査などによりイソギクに対する公園利用者の意見を聞き、どのように今後進めていくのかを検討する必要があります。肯定的な意見が多い場合、でさらに植栽エリアを広げることを検討されます。

来年度以降、イソギクを知ってもらいながらのイソギク活用のスキームは、他の公園、耕作放棄地、遊休地等でも利用が可能であると考えます。助成の継続を検討する際、他の地域へと活動を広げるにより、助成を受けて、当初の活動資金を確保しつつ、自己資金も確保するようにして、自立的な活動とすることが可能と考えます。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

実績の評価

2019年度、門池公園内にて約30㎡の面積にてイソギクの植栽をしました。活動として、イソギクを知ってもらうイベント2回、植栽イベント・草取りイベントを各1回、アンケート調査1回、草取り作業4回、経過観察8回を実施しました。また、地域のどなたか不明ですが、草取り作業を1回にして頂きました。行ったアンケート調査より、開花期・緑化期とも70%近くの方々に好印象をもらい、今後の展開に弾みを付けました。また静岡新聞に記事が1回掲載されました。

改善点

2019年度のイソギクの植栽が7月7日となり、当初予定していた4月～5月より遅くなったため、開花期（11～12月）に全面被覆をすることができませんでした。そのため、現段階での門池公園以外へのイソギク植栽提案が難しい状況です。全面被覆は暖冬の考慮し、2020年5月ごろを見込んでいます。GW以降に他の公園等への植栽提案を開始し、より早い時期での植栽を目指せるよう活動スケジュールを改善したいと考えます。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。